

令和5年度

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団
事業の計画に関する書類

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

目 次

令和5年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針	1
II 事業計画	1

令和5年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書

I 収支予算書	6
II 収支予算内訳表	8

資金調達及び設備投資の見込みについて	10
--------------------	----

令和5年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針

本財団は、平成26年4月1日の設立から今年度で10年目を迎えます。この間に市民主体の幅広い国際交流活動を積極的に実施するとともに、鹿児島市国際交流センターの指定管理者として管理運営を行うなど、国際都市鹿児島の発展に寄与してきました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大から約3年が経ち、ウィズコロナへの移行が進められる中で、本市の外国人市民も徐々に増え始め、本財団の役割はさらに重要性を増してくるものと思われます。

一方、鹿児島市は昨年度「鹿児島市多文化共生推進指針」を策定し、外国人住民へのコミュニケーション支援や生活支援の充実などについて、市全体で推進することとしています。

本財団としても、大規模災害時に外国人への支援を行う「災害時多言語支援センター」に関する取組を進めるなど、これまで培ってきたネットワークやノウハウを生かし、引き続き国籍や民族などの異なる多様な人々が共に生きていく地域づくりを推進していきます。

さらに財団設立10周年に向けた事業の充実及び準備に取り組むとともに、4年ぶりに開催される「かごしまアジア青少年芸術祭」の円滑な実施に努めます。

このように令和5年度におきましても、本財団の設立目的を達成するために定款に定められた「①国際交流の推進」、「②国際理解の推進」、「③国際協力の推進」、「④多文化共生の地域づくりの推進」、「⑤鹿児島市国際交流センターの管理運営」に係る各種事業に、賛助会員をはじめ多くの市民や在住外国人、関係団体の方々と連携を深めながら積極的に取り組んでまいります。

II 事業計画

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

○在住外国人の歓迎交流会

新入在住外国人の歓迎やかごしま国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会（ハーティーパーティー）を開催します。

○市民と在住外国人との1日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施します。

○在住外国人ホームビジット

在住外国人が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうと同時に、受入家庭には外国出身者との交流を深めてもらうことを目的として、宿泊を伴わない短時間のホームステイを実施します。

○国際交流カフェ【新規】

在住外国人と市民との交流を図ることを目的として、かごしま国際交流センターのラウンジ等を使用した交流会を実施します。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

○かごしまアジア青少年芸術祭

青少年の国際性を育み、市民の国際交流意識の高揚を図ることを目的として、アジア各国・地域と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める芸術の祭典を開催します。

○姉妹友好都市等からの来訪者の受入れ対応

姉妹友好都市等からの来訪者の受入れに当たり、滞在中の交流の充実を図ることを目的として、市と連携してホームステイの斡旋や随行案内等を実施します。

(3) 国際交流人材の育成事業

○ボランティア勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催します。

○運営ボランティアの活用

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、運営に協力してもらうとともに、学生ボランティアや経験豊富なボランティアによる事業の企画も行います。

○国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会（事業実施委員会）を開催します。

○登録団体交流会

鹿児島市国際交流センターの登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換の交流会を開催します。

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

○異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き、外国語を介した体験型講座を開催します。

○国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（CIR）等による企画イベントを開催します。

○異文化紹介イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、鹿児島大学留学生会による異文化紹介イベント等を支援します。

○絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語（英語、韓国語、中国語等）による絵本の読み聞かせを実施します。

○日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本文化や実際に生活する鹿児島の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催します。

○「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業

アジアへの理解を深め、交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなどアジアに特化した事業を実施します。

- 鹿児島市国際交流センター和室活用事業
日本文化を理解してもらうことを目的として、国際交流センター和室を活用したイベント等を実施します。
- 鹿児島市国際交流センター調理室活用事業
食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、国際交流センター調理室を活用したイベント等を実施します。
- 国際理解や多文化共生等に関する講話
学生など市民が多文化共生等への理解を深めることを目的として、学校やその他の機関の要望に応じて本財団職員が講話などを行います。
- 国際理解に関するボランティア等の育成
継続的に国際交流財団事業へ参加する人を増やすために、事業への貢献度が高いボランティアや参加者等に対して感謝状を贈呈するなどの取組を行います。

(2) 広報・情報発信事業

- 多言語情報誌の発信
外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）や在住外国人の企画・編集により、時宜を得た旬の情報を多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発信します。
- ホームページの多言語情報の提供
本財団の事業や関係団体の情報、外国人向けの情報等をより効果的に発信することを目的として、やさしい日本語や多言語翻訳に対応したホームページを作成し、情報の提供に努めます。
- 各種イベントへの協力・広報活動
本財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベントへの協力及び展示物の出展などによる広報活動を実施します。
- 広報誌（K I E Xなび）の発行
本財団事業に関する情報等をより効果的に発信することを目的として、広報誌（K I E Xなび）を発行します。

3 国際協力の推進

国際協力活動事業

- 国際協力講演会【拡充】
国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催します。なお、今年度は財団設立10年目にあたり、記念講演として開催します。
- 青年海外協力隊員報告会
国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、青年海外協力隊経験者を招き報告会を開催します。
- 国際協力体験イベント・パネル展示
国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（JICA）等と連携し体験型講座やパネル展示を行います。

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

○在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催します。

○在住外国人のための防災意識啓発活動

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識を啓発することを目的として、消防関係機関等と連携し、訓練や体験型講座等を実施します。

○子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、さまざまな国籍の子どもと一緒に楽しめる交流会を開催します。

○地域との連携事業

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催します。

(2) 在住外国人支援事業

○在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施します。

○日本語支援プロジェクトワーク

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すプロジェクトワークを行います。

○日本語支援ボランティア養成

日本語習得を支援することを目的として、日本語支援ボランティアを養成する講座を開催します。

○外国人相談事業

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施します。また、外国人相談窓口を運営し、外国人からの生活に関する相談等に対応します。

○災害時外国人支援事業【拡充】

災害時において在住外国人の避難行動を支援するための研修会を開催するとともに、災害時多言語支援センターの運営体制を整えます。

○災害時通訳ボランティアの登録・育成事業（地域防災計画関連）

災害時に多言語での情報発信や在住外国人の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会や登録会を実施します。

○多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる言語別の交流会を開催します。

○テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、テーマ別の交流会を開催します。

5 鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業

鹿児島市から管理受託した鹿児島市国際交流センターの指定管理者として、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適切に維持管理を行うとともに、市民の平等利用、市民サービスの向上に努めます。合わせて、同センターを活用したイベントの実施や、研修室等の貸出しを通して、市民による国際交流事業等を促進します。

6 鹿児島市国際交流センター利用者サービス事業

センター内に自動販売機を設置するなど、利用者の利便性の向上を図ります。

令和5年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書
 I 収支予算書 (正味財産増減計算書ベース)
 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：千円)

科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,001	1,218	△ 217
賛助会員受取会費	1,001	1,218	△ 217
事業収益	755	749	6
事業収益	630	630	0
収益事業収益	125	119	6
受託事業収益	86,081	81,328	4,753
受託事業収益	4,041	3,913	128
指定管理受託事業収益	82,040	77,415	4,625
受取負担金	2,538	2,271	267
受取負担金	2,538	2,271	267
雑収益	39	16	23
雑収益	38	15	23
受取利息	1	1	0
経常収益計	90,414	85,582	4,832
(2) 経常費用			
事業費	80,372	71,562	8,810
役員等報酬	1,658	1,427	231
給料手当	37,497	35,154	2,343
退職給付費用	2,041	853	1,188
福利厚生費	6,004	5,504	500
旅費交通費	230	109	121
通信運搬費	506	629	△ 123
減価償却費	258	258	0
消耗品費	2,004	1,303	701
修繕費	46	22	24
印刷製本費	898	1,107	△ 209
燃料費	31	28	3
光熱水料費	5,679	4,700	979
使用料・賃借料	211	297	△ 86
保険料	262	203	59
租税公課	4,667	4,363	304
手数料	297	152	145
報償費	3,022	2,211	811
負担金・補助金	2,746	2,784	△ 38
委託料	12,315	10,458	1,857
管理費	14,262	14,307	△ 45
役員等報酬	2,886	2,541	345
給料手当	3,486	2,795	691
福利厚生費	1,018	929	89
会議費	11	11	0
旅費交通費	55	0	55
通信運搬費	492	497	△ 5
減価償却費	29	29	0
消耗什器備品費	0	193	△ 193
消耗品費	571	572	△ 1
修繕費	350	238	112
印刷製本費	633	633	0
燃料費	3	3	0
光熱水料費	627	521	106
使用料・賃借料	1,435	1,232	203
保険料	9	6	3
租税公課	780	791	△ 11
手数料	498	441	57
報償費	15	0	15
負担金・補助金	309	312	△ 3
委託料	1,055	2,563	△ 1,508
経常費用計	94,634	85,869	8,765
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,220	△ 287	△ 3,933
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,220	△ 287	△ 3,933

科目	当年度	前年度	増減額
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,220	△ 287	△ 3,933
一般正味財産期首残高	9,715	10,002	△ 287
一般正味財産期末残高	5,495	9,715	△ 4,220
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0
III 正味財産期末残高	8,495	12,715	△ 4,220

II 収支予算内訳表（正味財産増減計算書ベース）
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：千円）

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	1,001			1,001
賛助会員受取会費	1,001			1,001
事業収益	630	125		755
事業収益	630			630
収益事業収益	0	125		125
受託事業収益	72,461		13,620	86,081
受託事業収益	3,999		42	4,041
指定管理受託事業収益	68,462		13,578	82,040
受取負担金	2,538			2,538
受取負担金	2,538			2,538
雑収益	1	38		39
雑収益	0	38		38
受取利息	1			1
経常収益計	76,631	163	13,620	90,414
(2) 経常費用				
事業費	80,292	80		80,372
役員等報酬	1,658			1,658
給料手当	37,497			37,497
退職給付費用	2,041			2,041
福利厚生費	6,004			6,004
旅費交通費	230			230
通信運搬費	506			506
減価償却費	258			258
消耗品費	2,004			2,004
修繕費	46			46
印刷製本費	898			898
燃料費	31			31
光熱水料費	5,641	38		5,679
使用料・賃借料	198	13		211
保険料	262			262
租税公課	4,644	23		4,667
手数料	291	6		297
報償費	3,022			3,022
負担金・補助金	2,746			2,746
委託料	12,315			12,315
管理費			14,262	14,262
役員等報酬			2,886	2,886
給料手当			3,486	3,486
福利厚生費			1,018	1,018
会議費			11	11
旅費交通費			55	55
通信運搬費			492	492
減価償却費			29	29
消耗品費			571	571
修繕費			350	350
印刷製本費			633	633
燃料費			3	3
光熱水料費			627	627
使用料・賃借料			1,435	1,435
保険料			9	9
租税公課			780	780
手数料			498	498
報償費			15	15
負担金・補助金			309	309
委託料			1,055	1,055
経常費用計	80,292	80	14,262	94,634
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,661	83	△ 642	△ 4,220
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,661	83	△ 642	△ 4,220

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,661	83	△ 642	△ 4,220
他会計振替額	42	△ 42	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,619	41	△ 642	△ 4,220
一般正味財産期首残高	4,011	100	5,604	9,715
一般正味財産期末残高	392	141	4,962	5,495
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	0	0	3,000
指定正味財産期末残高	3,000	0	0	3,000
III 正味財産期末残高	3,392	141	4,962	8,495

資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

令和5年度中に借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

令和5年度中に設備投資の予定はありません。

以 上